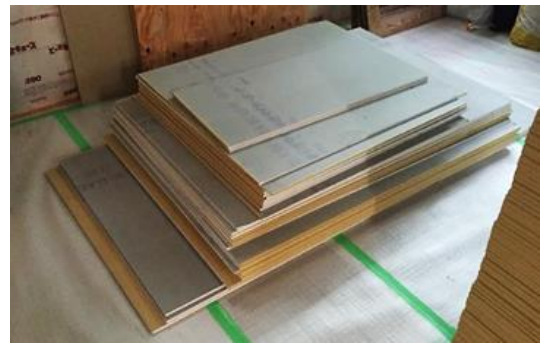
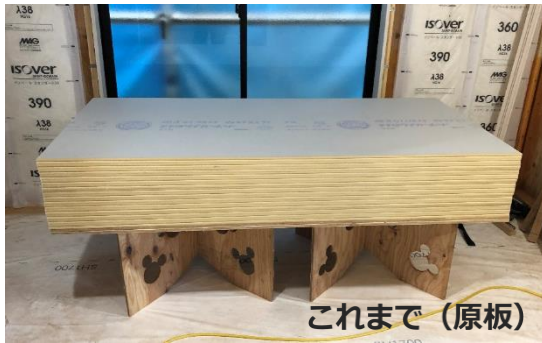


大工就業者数の激減・住宅供給量不足の懸念を払拭  
**割付積算システムで寸法通り、天井用石膏ボードのプレカット販売を開始**  
 ～現場の施工時間を最大で半減、廃材はほぼゼロへ～



■天井用石膏ボードの現場納入イメージ 左：原板 右：図面の寸法通りにプレカット

野原住環境株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：大西譲二）は、木造住宅向けの天井で使用される石膏ボードを、同社開発の割付・積算サービス「ぴったりでき太」<sup>i</sup>のデータを元に図面の寸法通りにプレカット（以下、プレカット）し販売する取組み（以下、天井ボードプレカット販売）を7月20日から開始します。対象地域は、関東地方を中心に徐々に拡大します。

本サービスのご利用により、住宅会社は、木造住宅建設における天井用石膏ボード貼りに要する工期を従来の半分に、余剰材や現場加工の端材などの廃材量をほぼゼロにできます。

木造住宅産業は、大工従業者の高齢化及び同従業者数の激減から、建設技能の低下や今後の住宅需要に見合った住宅供給量の確保が懸念されています<sup>ii</sup>。

弊社をはじめとする野原グループは、建設産業の生産性向上を実現するため、BIM<sup>iii</sup>をはじめ建設のデジタル化に力を入れています。弊社は、戸建住宅を中心にかねてより環境配慮・省施工につながる取組み<sup>iv</sup>を進めています。今回は業界を取り巻く環境変化を考慮し、デジタルプログラム上で最適な積算・割付・板取りが同時にできる「ぴったりでき太」（2009年開始）を活用して、天井ボードプレカット販売を開始しました。

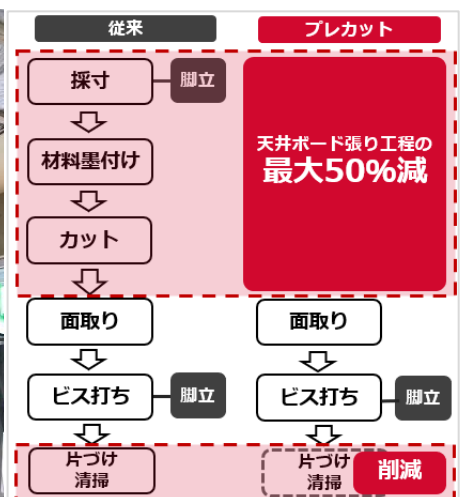
【問い合わせ先】 <https://nle.nohara-inc.co.jp/contactus/>

### 天井ボードプレカット販売とは

天井用石膏ボード貼りは、採寸から取付けまで脚立を使った頭上での作業が多く負荷が大きいのが特徴です。

今回、弊社が住宅会社より受領した図面をもとに**最適な割付図を作成し、割付図通りに天井用石膏ボードをプレカットして販売**します<sup>v</sup>。

現場では、**従来の採寸等の工程を省略**でき、作業後の**廃材量や清掃時間を大幅削減**できます。清掃を含めた、**天井ボード張り工程の最大50%を削減**できます。



## 1. 主な特長

### 1) 施工時間の短縮

- ・プレカット化により現場の作業負荷と施工時間が最大半減することを実証（弊社検証）

### 2) 品質管理の向上

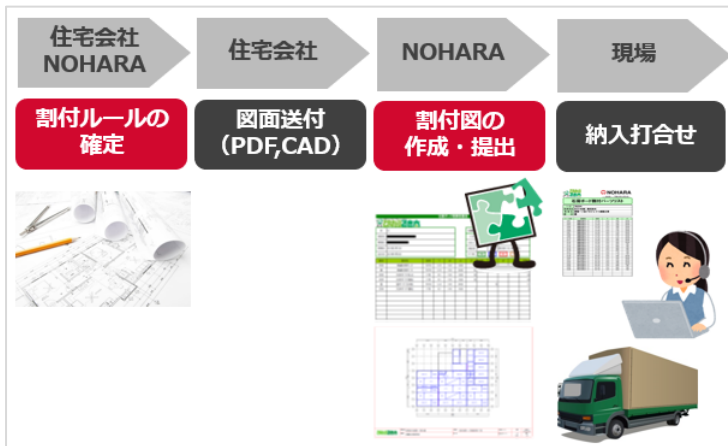
- ・お客様と策定した割付ルールに基づく割付図での現場施工が実現
- ・熟練工でなくても、施工のバラツキが出ない

### 3) 現場での廃材削減

- ・現場ごとに現場条件や下地位置を考慮した割付図面を作成、プレカットをして必要な材料のみを現場に納入（余分な材料を納入しない）
- ・現場で発生する残材は従来の1/4以下となり、廃材処分費の削減や現場の美化にも繋がる

|    |      | 真物（原板）                                   | 割付積算+プレカット                             |
|----|------|--|--|
| 効果 | 工期   | —  | <b>2日間→1日</b><br>約50%の削減               |
|    | 品質管理 | 施工が大工さん任せとなり易く、過不足の原因説明が困難               | 施工基準の明確化<br>強制的に割付図（施工基準）通りの施工を実現      |
|    | 廃材   | 多めに納品することによる余剰材<br>現場加工時の端材<br>※産廃費用の負担増 | <b>ほぼゼロ</b> （現場美化、環境配慮）<br>※産廃費用の大幅カット |
| 費用 | —    | 加工費・追加運賃・割付図作成費等の発生                      |  |

## 2. フロー



## 3. 今後の展開

年度内に次のような新たな取組みを開始し、戸建住宅建設における更なる現場の工期短縮（省施工化）、廃材の削減、品質向上を推し進めてまいります。

- ・フローリングのプレカット販売
- ・壁用石膏ボードのプレカット販売

## 4. 問合せ先

<https://nle.nohara-inc.co.jp/contactus/>

## サービス誕生の背景

現在、住宅を取り巻く環境は大きく変化しています。住宅着工数は世帯数と連動して減少傾向にありますが、それ以上に大工就業者数の減少スピードが早く、住宅会社は生産性を向上させないと減少した戸数でも提供できなくなる可能性があります。

弊社は、従来のプロセスにDX（デジタル・トランスフォーメーション）を取り入れ、住宅会社の「トータルコストの削減」「工期短縮」「仕様標準化」を実現していくためのお手伝いがないかと考えました。そこで、住宅会社の実態をヒアリングし、現場にムダを発生させないゼロエミッションのサポートサービス「ぴったりでき太」の「現場見える化」機能を進化させ、天井ボードプレカット販売を開始することにしました。

### <主な環境変化>

#### 1. 現場の職人不足や高齢化

この傾向は一層顕著になってきています。継続して新築住宅を提供していくためには、現場の生産性向上、技能工でなくても施工ができる工夫が必要不可欠です。階段や給排水パイプ、サイディング等々、プレカット商材に注力する建材メーカーは増加傾向にあります（弊社調べ）。

## 2. SDGs（持続可能な開発目標）への取り組み

目標 12「つくる責任、つかう責任」では廃棄量を減らすことがターゲットとなっており、施工現場で排出される廃棄物を減らす努力が必要です。

## 3. 「瑕疵担保責任」から「契約不履行責任」へ ※民法改正（2020年4月施行）

住宅会社は、建築請負契約締結時に定めた品質・性能・仕様を満たすことが求められます。これを満たすためには、事前に施工標準書や仕様書を準備する必要があります。

## 野原グループのSDGsの取り組みについて

建設業は、世の中になくなくてはならない産業である一方で、CO2を常に排出する立場にもあります。今後は、自然環境との共存がより大きなテーマになっていくと考えています。弊社をはじめとする野原グループは、建設DXに力を入れ、建設産業の生産性向上・より快適な暮らし・地球環境への配慮（脱炭素化など）・SDGs（特に以下の目標）の実現に貢献してまいります。

### ●9. 産業と技術革新の基盤をつくろう

### ●11. 住み続けられるまちづくりを

### ●12. つくる責任つかう責任

### ●13. 気候変動に具体的な対策を



## 野原住環境株式会社について

野原住環境はこれまで、30年近くにわたり、全国において主に住宅会社向けに資材の販売を行ってきました。また、住宅の性能向上が求められる近年においては、ゼロエミッションを目標とした積算割付サービス「ぴったりでき太」などの様々なサービスを展開し、住まいの資産価値向上と住生活環境の改善提案を行っています。

私たちは、野原ホールディングスを始めとする野原グループ内企業として、ミッション「CHANGE THE GAME. クリエイティブに、面白く、建設業界をアップデートしていこう」のもと、これまで培ってきた知見をさらに磨き、未来につなげていくことで、より一層社会に貢献して参ります。

<http://nle.nohara-inc.co.jp/>



### 【お客さまからの問合せ先】

野原住環境株式会社

<https://nle.nohara-inc.co.jp/contactus>

### 【本リリースに関する報道関係者からの問合せ先】

野原ホールディングス株式会社

経営企画部（担当：齋藤）

TEL：03-6328-1576

<sup>i</sup> 「ぴったりでき太」は、弊社オリジナルの割付・積算サービス付き資材販売です（2009年開始）。専用の3DCADにより石膏ボードなどの建材の割付図を作成し、デジタルプログラム上で最適な板取りを行うことで、必要最小限の数量を算出し資材を納入します。

<sup>ii</sup> 詳細は、国土交通省 発表資料 (<https://www.mlit.go.jp/common/001371738.pdf>) および野村総合研究所 発表資料 (<https://www.nri.com/jp/news/newsrelease/1st/2018/cc/0613>) を参照願います。

<sup>iii</sup> BIM（ビム/Building Information Modeling の略称）とは、建築物のデジタルモデルに、部材やコストなど多様な属性データを追加した建築物のデータベースを持たせ、設計・施工・維持管理の各プロセスを横断して活用するための新しいソリューションです。

<sup>iv</sup> 2019年8月には省施工をメインテーマとしたカタログを発行し、省施工商材の販売も強化しています。

<https://nohara-inc.co.jp/news/information/709/>

<sup>v</sup> 野原住環境では、すでに床断熱材と軽量野縁材はプレカット対応をしています。